

2023年 正月飾り作り 報告書

1. 開催日時：2023年12月10日（日） 午前：9:30～11:30 午後：13:00～15:00
2. 場所：枚岡公園管理事務所うら 森の工作室
3. 参加者：計23人（午前：11人 午後：12人）
4. スタッフ：7人（石田、端、森、森田、柴山、岩元、森口）
5. 時程（カッコ内は午後の部）
 - 8:30 : スタッフ集合、
 - 8:45 : 森の工作室開錠・設営準備
 - 9:10 (12:55) : 受付開始
 - 9:15 (13:00) : 受付済参加者から順次ワラそぐり・シベ取りの先行作業
 - 9:40 (13:30) : 挨拶、参加者・スタッフ紹介、稲わらから正月飾りの作り方説明
 - 10:50 (14:30) : 飾り付け
 - 11:20 (15:03) : 作品の発表・感想
 - 11:30 (15:10) : 終了・片付け
 - 11:40 : 昼食、稲わら等準備
 - 15:55 : スタッフ振り返り

2023年12月10日（日）正月飾り作りが実施されました。
参加者23人という盛況で午前と午後の二部に分かれて行われました。

準備ととのい開始を待つ森の工作室、お正月飾りの材料も準備できました。
事務所前では受け付けが始まりました。



工作室で藁の扱い方、縄の緋（な）い方の説明を聞き、さっそく外で作業開始です。
藁削（そ）ぐり、藁緋いをします。藁の細かい枯れた葉の部分を削ぎ落とし、きれいな軸の部分だけを束ねて茎元を結束、
それを三等分したうちの2本をそれぞれ右巻きにねじりながら左巻きに撚り合わせ穂先を結束、次に3本目を右巻きにねじりながら束ねた2本に左巻きで撚り合わせて縄にします。



縄を緋うのは三人がかりの力仕事。
昔の人々にとってはお正月を迎える大切な共同作業だったのでしょうか。

縄ができれば、それを輪にして飾りをつけます。



ユズリハやナンテン、マツなど縁起物の自然素材が使われ、きらびやかなひもや色紙で飾ります。色とりどりの水引や紙垂（しで）を自作の縄につけます。特に今枝さん、柴山さん手作りの和紙の鶴や花の飾り物は人気でした。



大人も子どもも自作のお正月飾りを披露し、感想を一言ずつ述べました。午後の部もほぼ同じ流れで終了し無事閉会しました。その後、森の工作室を掃除しスタッフの振り返りをして終わりました。



【参加者感想】

一番最初の工程(ワラそぐり)が大変であった。
縄をなうのが上手くいかないと最後が締まらないんだと思いました。
ほとんど手伝ってもらいました。
縄作りの作業は力が要る作業であったがしっかりできて感謝です。
ごちゃっとつけすぎたがみどりメインで完成できた。
縄作りが共同作業で大変であった。
昔から父親が作っていたが自分でもできて良かった。
今回もシンプルで作りたと思っていたがベストなものできた。
農家の家に生まれて毎年やっていたが手伝わせてもらえなかったので今日はできて良かった。
手こずりました。こんな大変とは思わなかった。
初めてのことで大変であった。
大変であったが親子で家で仲良く仕上げたい。
完成半ばだがよかった。

良いお正月が迎えられる。ありがとうございました。
時間はたっぷりあったが家で完成させたい。
藁を編むのがすごく楽しかった。来年も来ます。
楽しかった。家で完成させたい。
途中だが家で嫁はんに手伝ってもらおう。
手伝ってもらってスタッフの方ありがとうございました。
藁が完成してないけど楽しかった。
親子でしめ縄作りができて良かったです。
作るのは難しかったけど来年もここに参加して作りたい。
素晴らしいものができて来年は素晴らしい年になりそうです。
来年もまたきます。